

上肢 2

XIV 前肘部の観察

XV 前前腕部の観察

肘窩 (手引き21ページ)

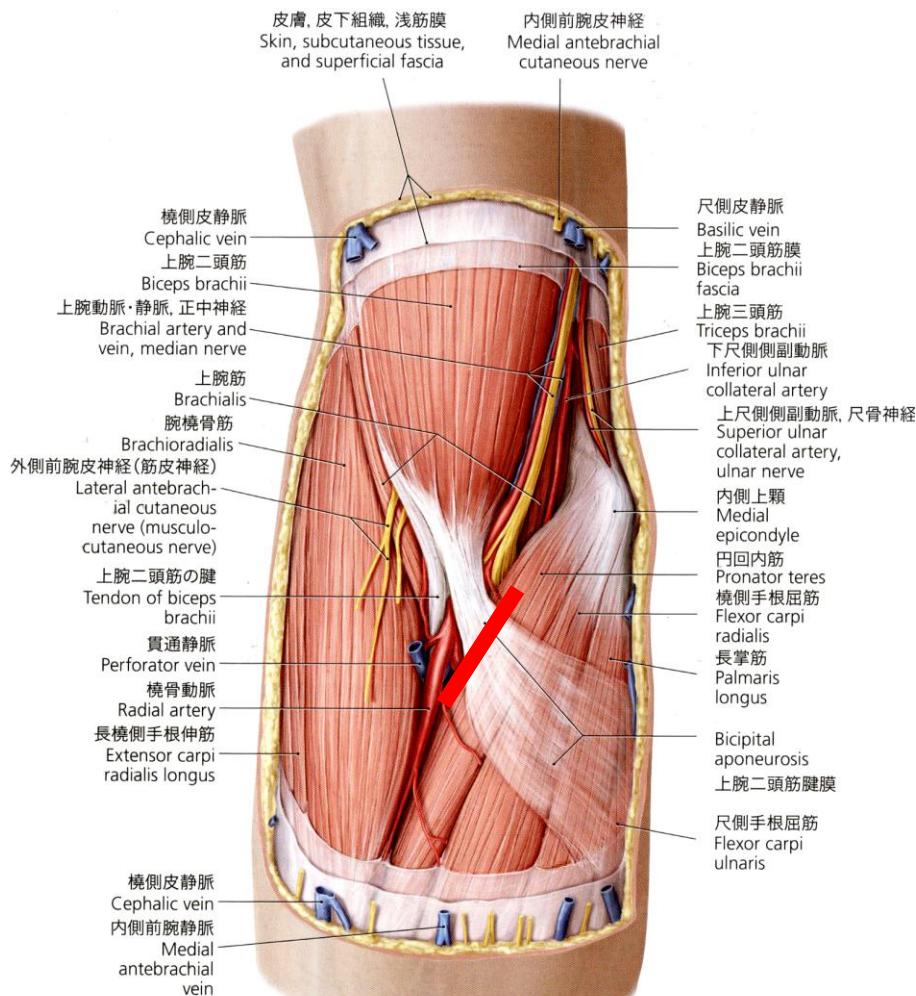
外側：伸筋外側群（腕橈骨筋）と回外筋

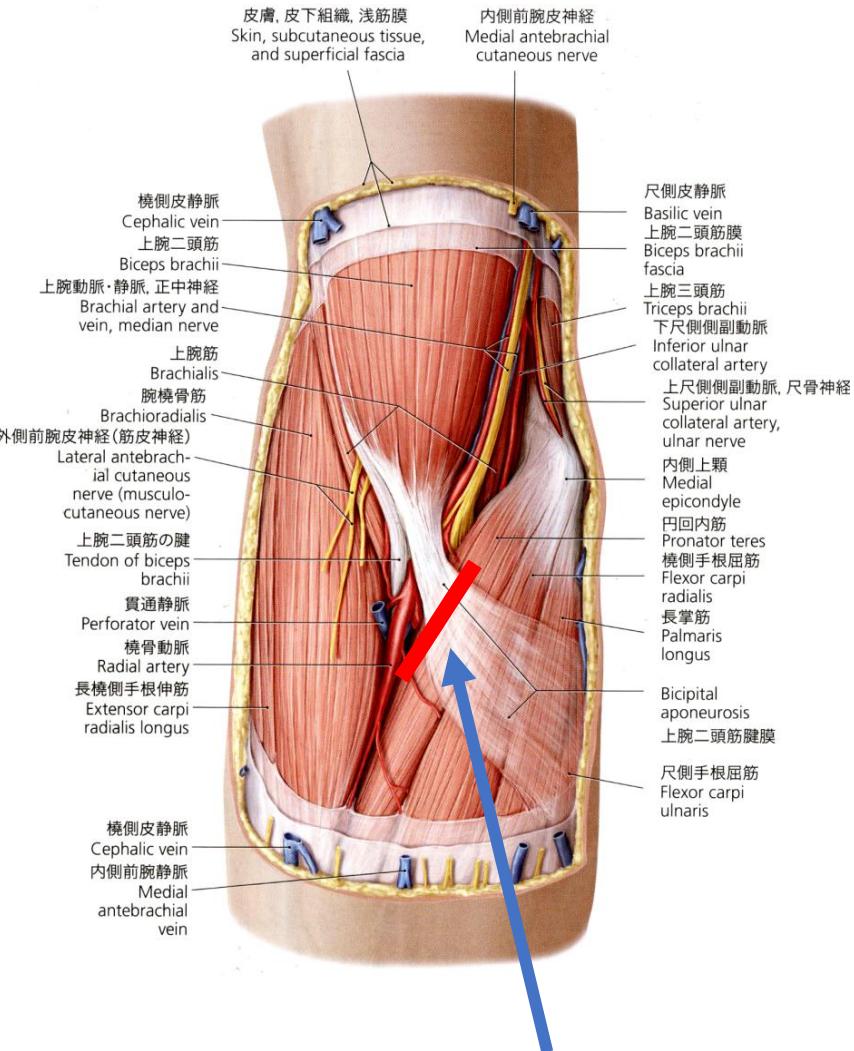
内側：円回内筋

底部：上腕二頭筋と上腕筋の付着腱

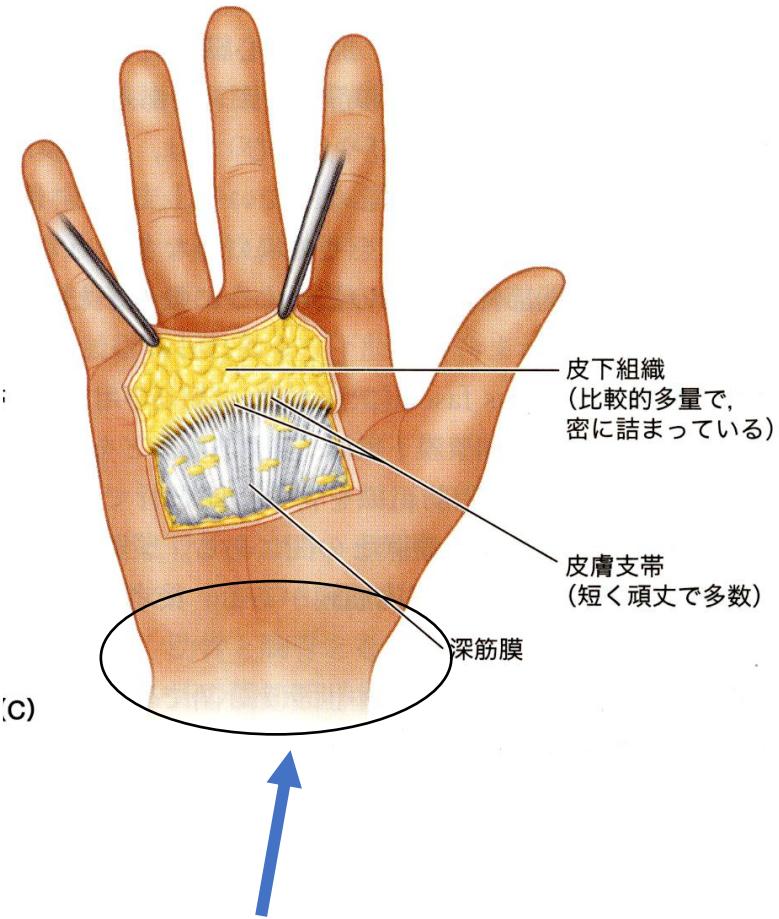
肘窩にある構造

- 上腕二頭筋腱の内側に上腕動脈、正中神経が走る。
- 上腕動脈は肘窩で橈骨動脈と尺骨動脈にわかれれる。
- 上腕二頭筋腱膜の上を肘正中皮静脈が通る。





上腕二頭筋腱膜を赤線のように切断する



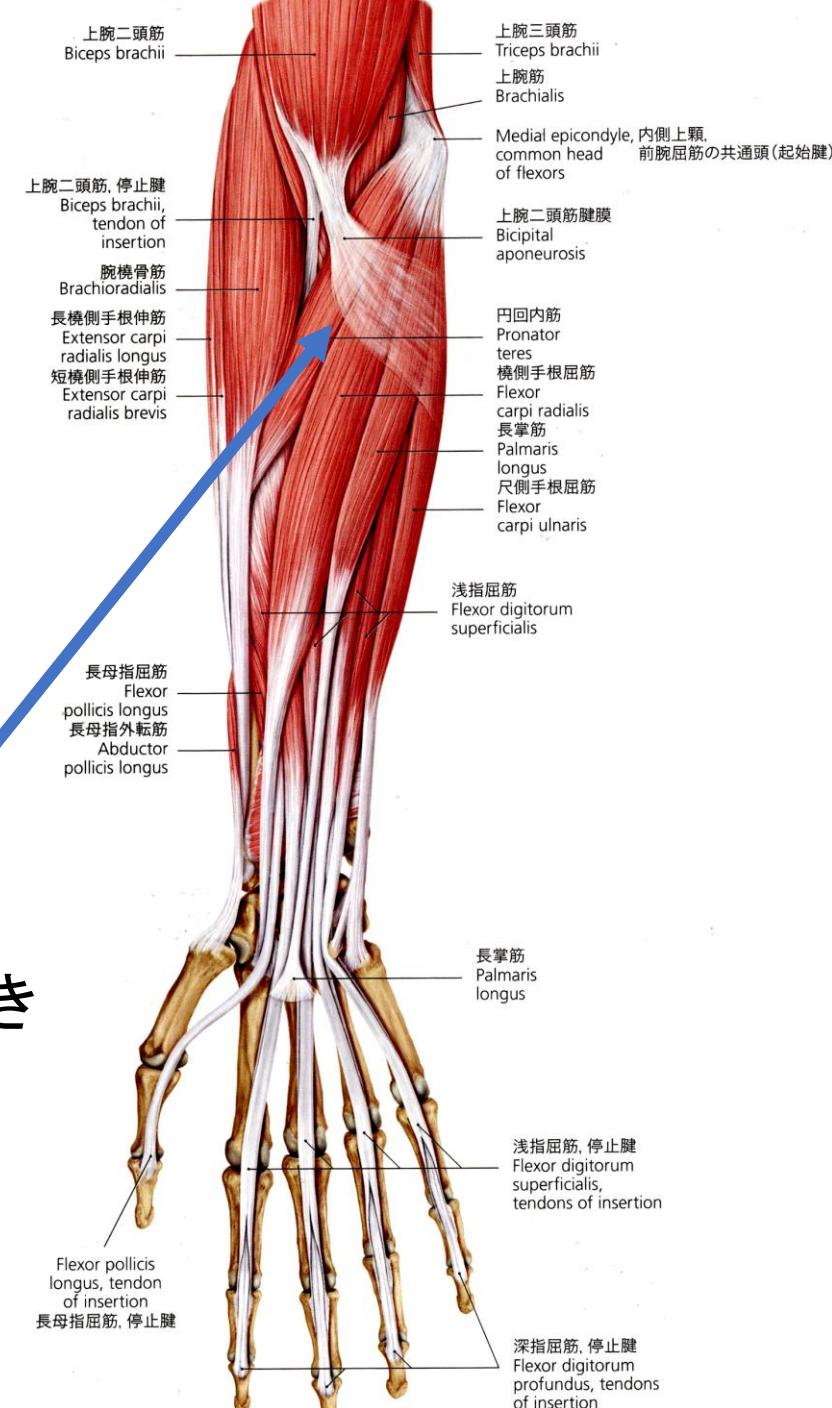
手首あたりを皮剥ぎする

前腕屈筋群を剖出する（神経・血管を傷つけないように）

【表層】 内側上顆を起始とする

- ・ 尺側手根屈筋
- ・ 長掌筋
- ・ 桡側手根屈筋
- ・ 円回内筋

4つの筋の筋腹の筋膜を剥いで、できるだけ分離する。



手首を屈曲させて、浅指屈筋を観察する

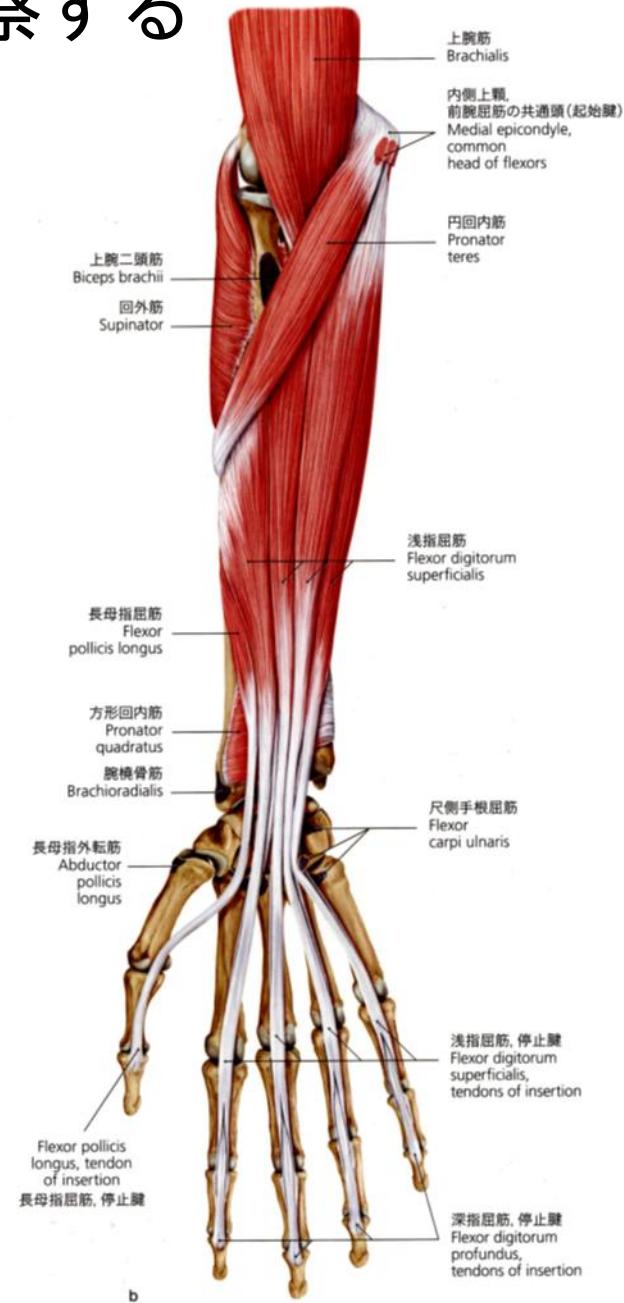
【中層】

・ 浅指屈筋

停止：第2～5指骨の中節骨

腱は4本あるので、どれが浅指屈筋の腱かを確かめる。

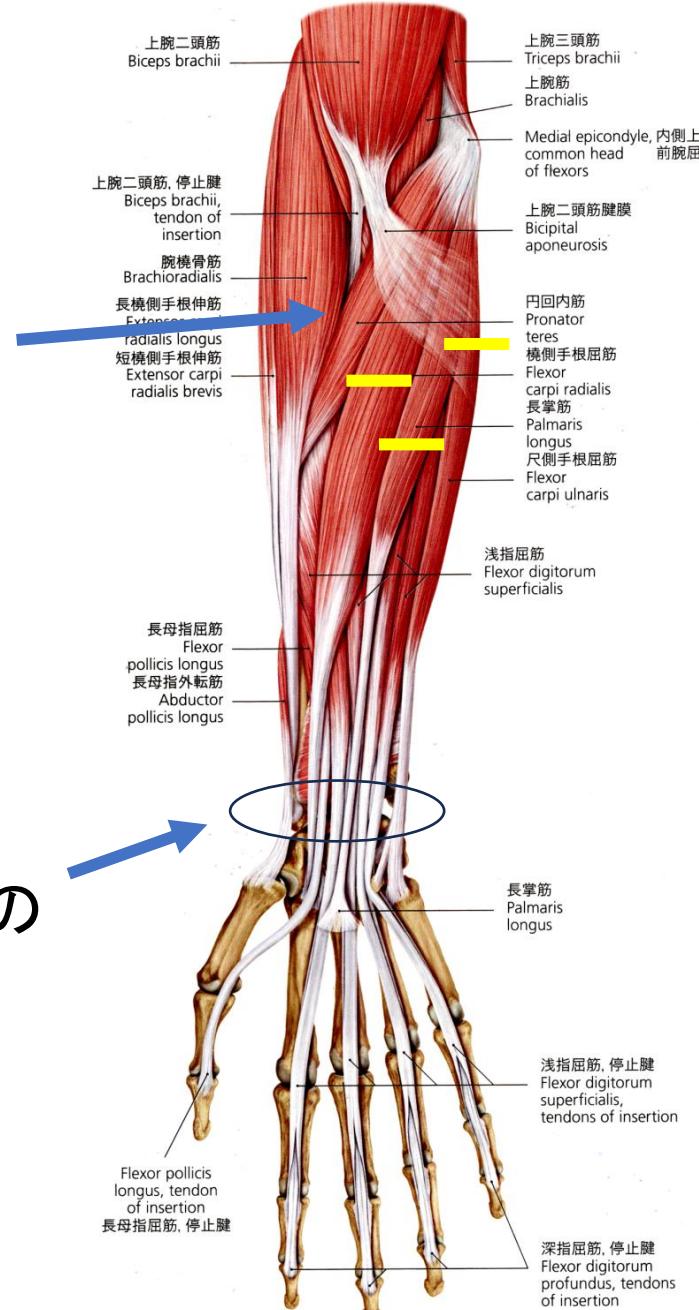
腱をひっぱって指が曲がれば、浅指屈筋。



【注意】

- ・ 深層の筋を見るために、表層の筋を切斷したければ、筋腹で切斷すること。
- ・ 切断するときは筋によって切断する高さを変えること。
- ・ 切断前に筋は浮かせて、裏に神経・血管がないことを確認すること。

腱で切斷すると、どれがどの腱か分からなくなります！



【深層】

・長母指屈筋

停止：母指末節骨底

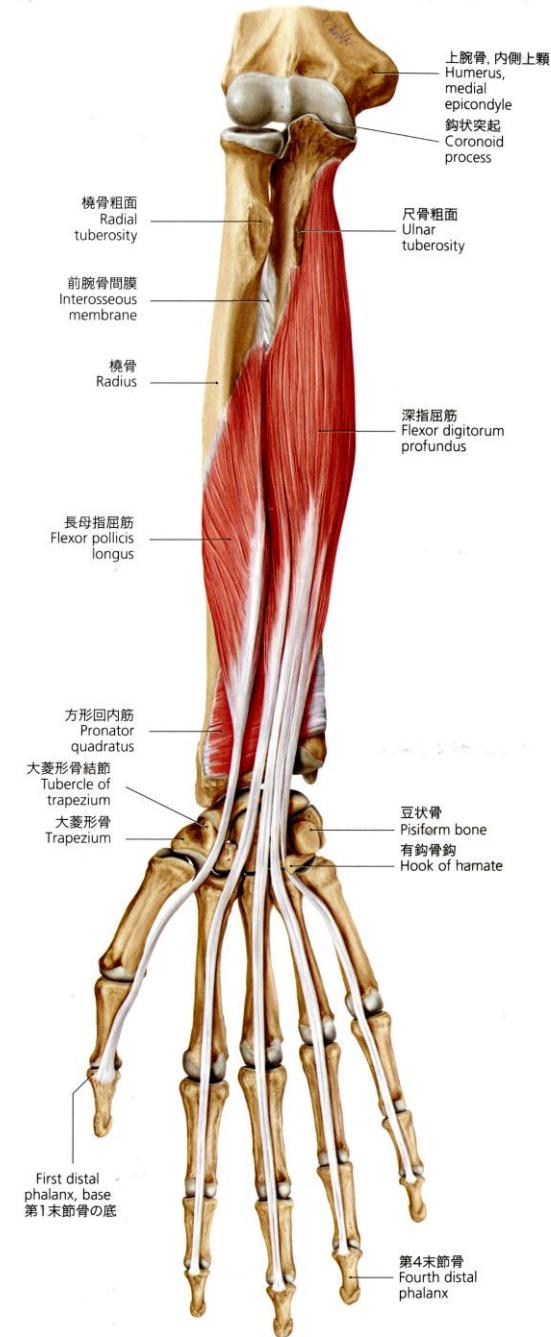
・深指屈筋

停止：第2～5指骨の末節骨

・方形回内筋

浅指屈筋と深指屈筋の間に正中神経が通る。

長母指屈筋/深指屈筋（橈側半）/方形回内筋は前骨間神経（正中神経の枝）支配。



【伸筋の橈側群】

- 腕橈骨筋
- 長橈側手根伸筋
- 短橈側手根伸筋

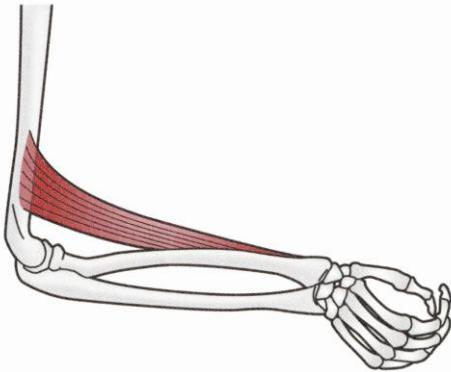
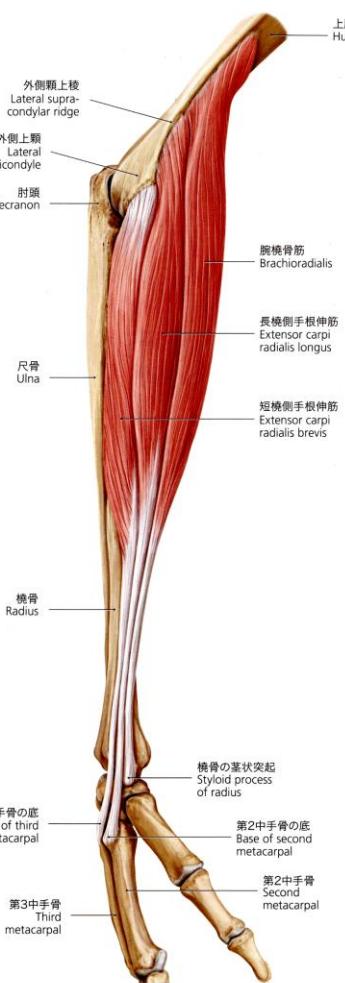


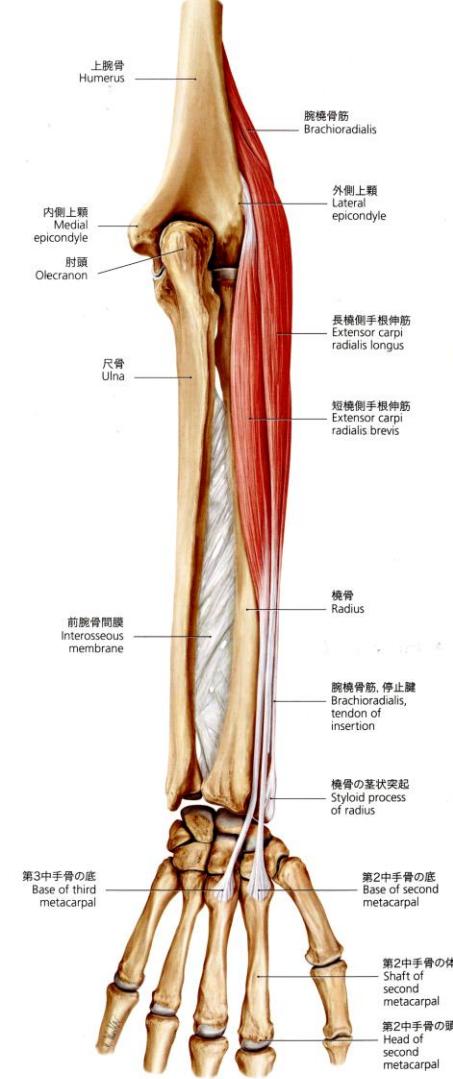
図 2-56 腕橈骨筋（外側から）

腕がこの図のように半回内位で屈曲している時、腕橈骨筋は最も力を発揮できる。すなわち重い物を手で持て支えることが出来る。

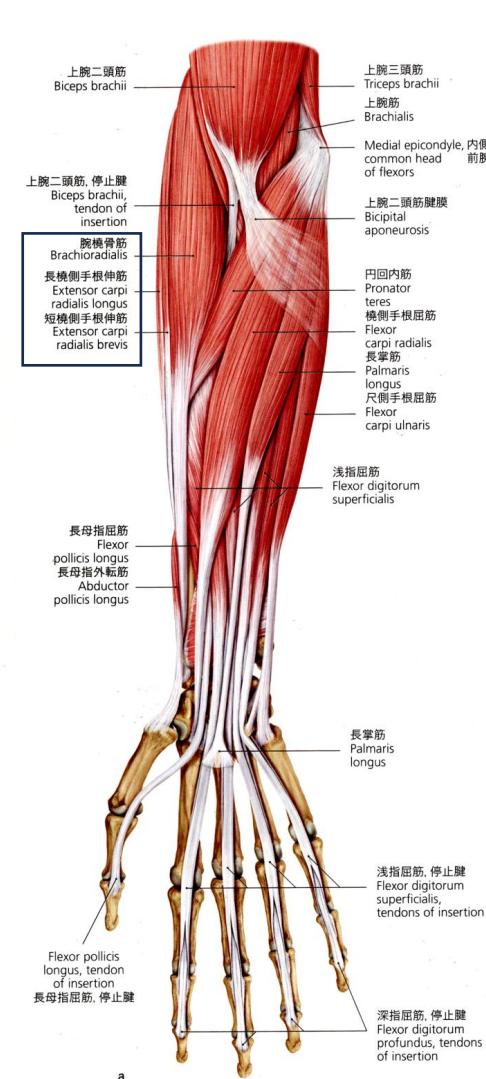
腕橈骨筋は、筋区画で橈側伸筋群と同じため、前腕伸筋群に属する。橈骨神経支配だが、肘関節の屈曲に働く。



右の側面（橈側）



右の後面



右の前面

神経の観察

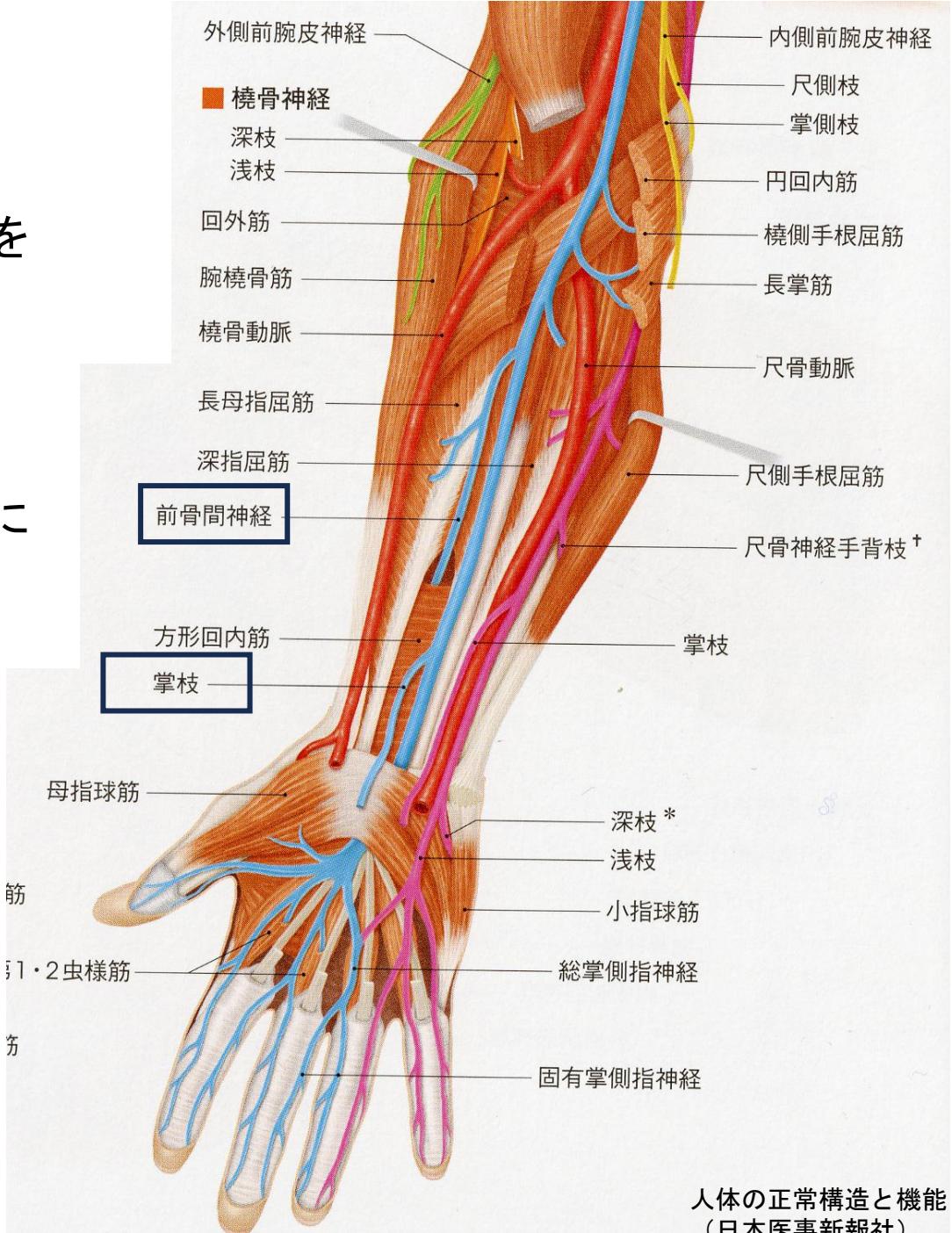
正中神経

円回内筋の上腕頭と尺骨頭の間を
通る。

筋枝：円回内筋・橈側手根屈筋
長掌筋・浅指屈筋

前骨間神経：同名の動脈とともに
骨間膜の前面を下行

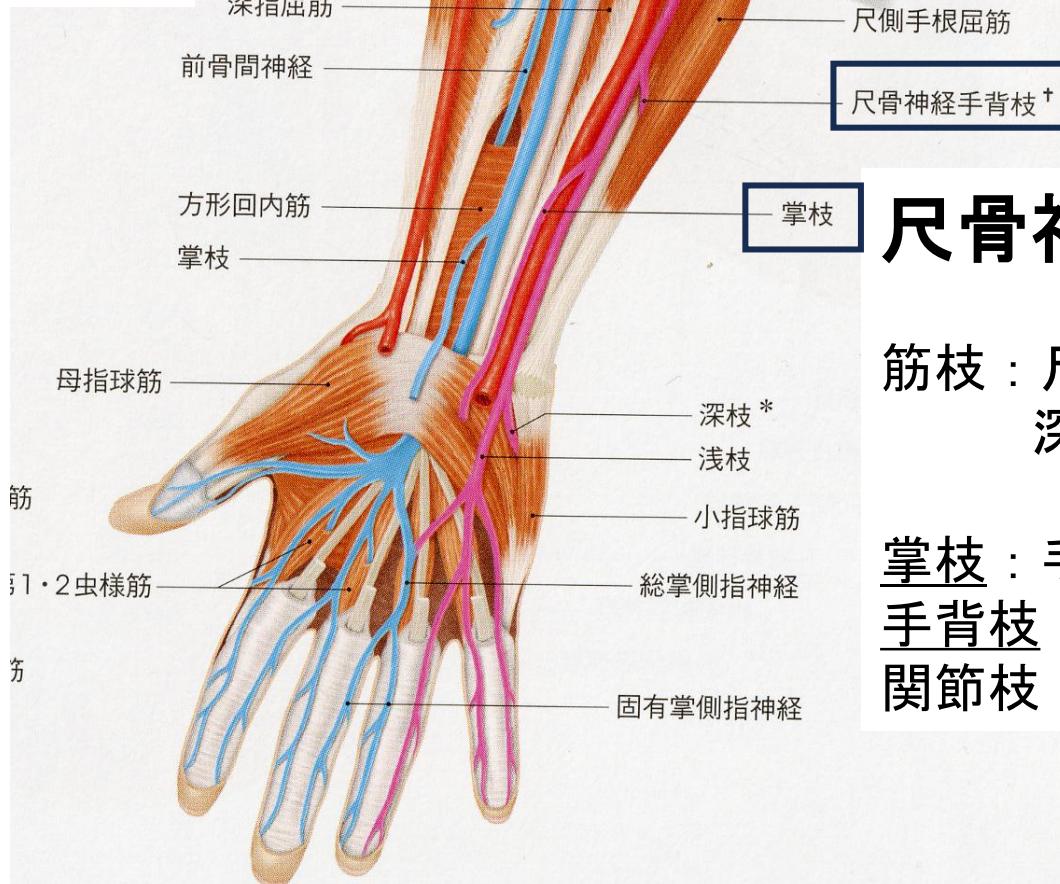
掌枝：手掌の母指側皮膚に分布



神経の観察

橈骨神経

浅枝：主に感覚性
腕橈骨筋の内側を下行



尺骨神経

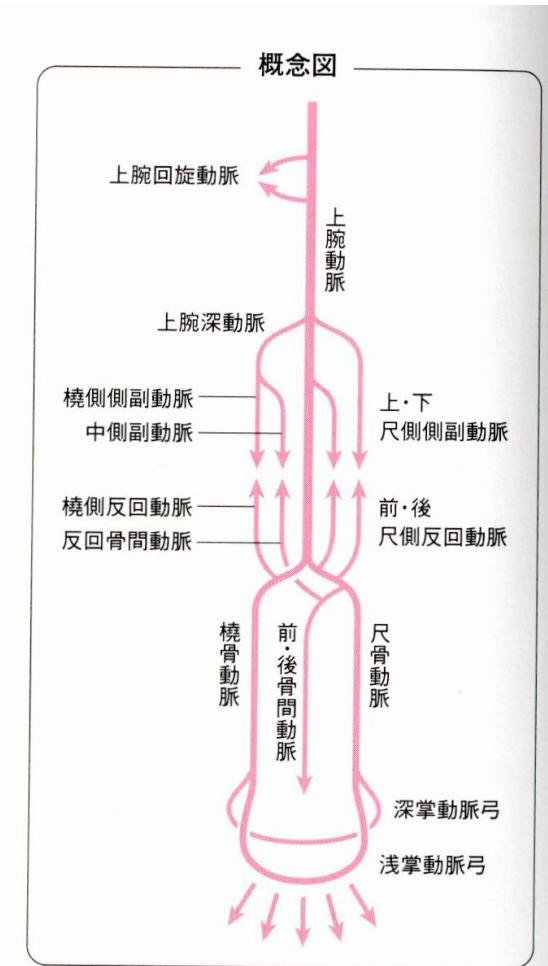
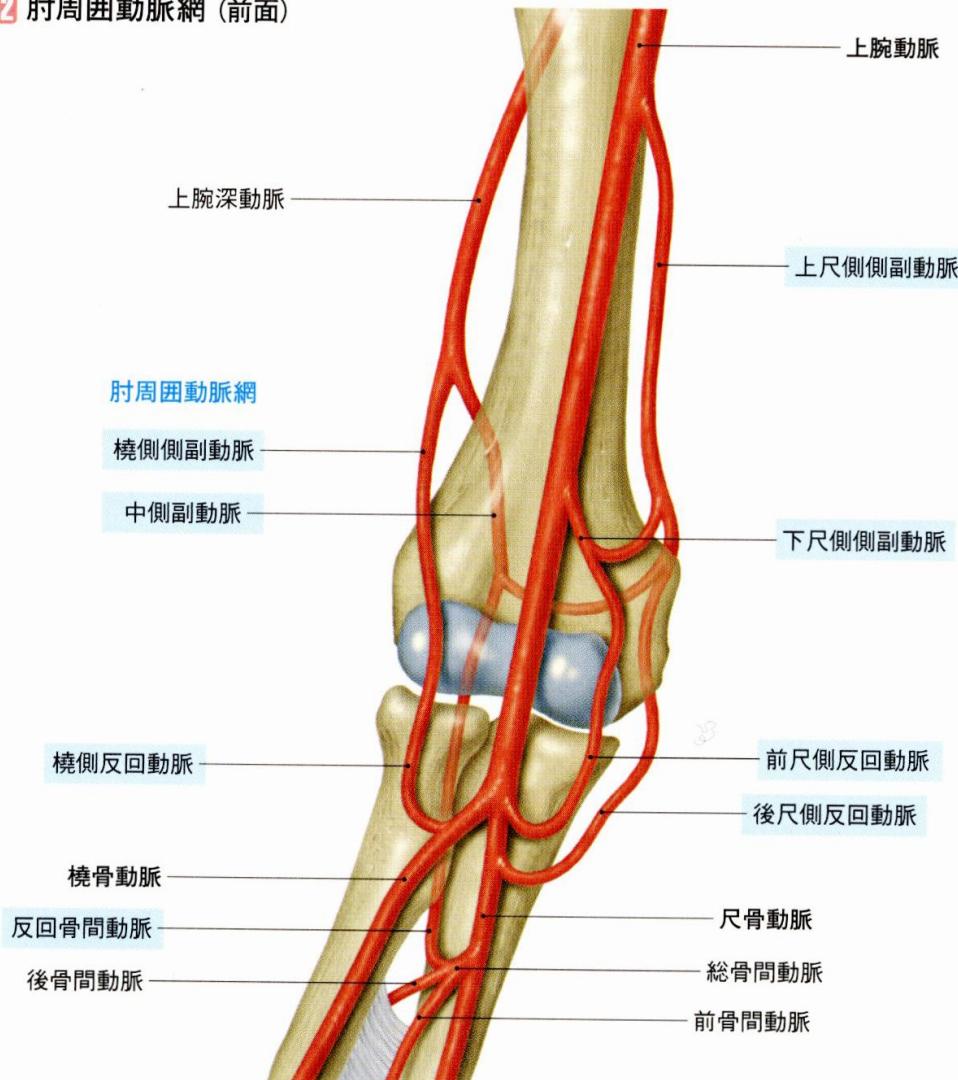
筋枝：尺側手根屈筋
深指屈筋の尺側半

掌枝：手掌の皮膚へ
手背枝：手背へ
関節枝：肘関節へ

肘関節動脈網

上腕動脈の枝と尺骨動脈・橈骨動脈から上行する枝が吻合して形成される動脈網。上腕動脈の下部で閉塞されても側副路によって血液は末梢に送られる。

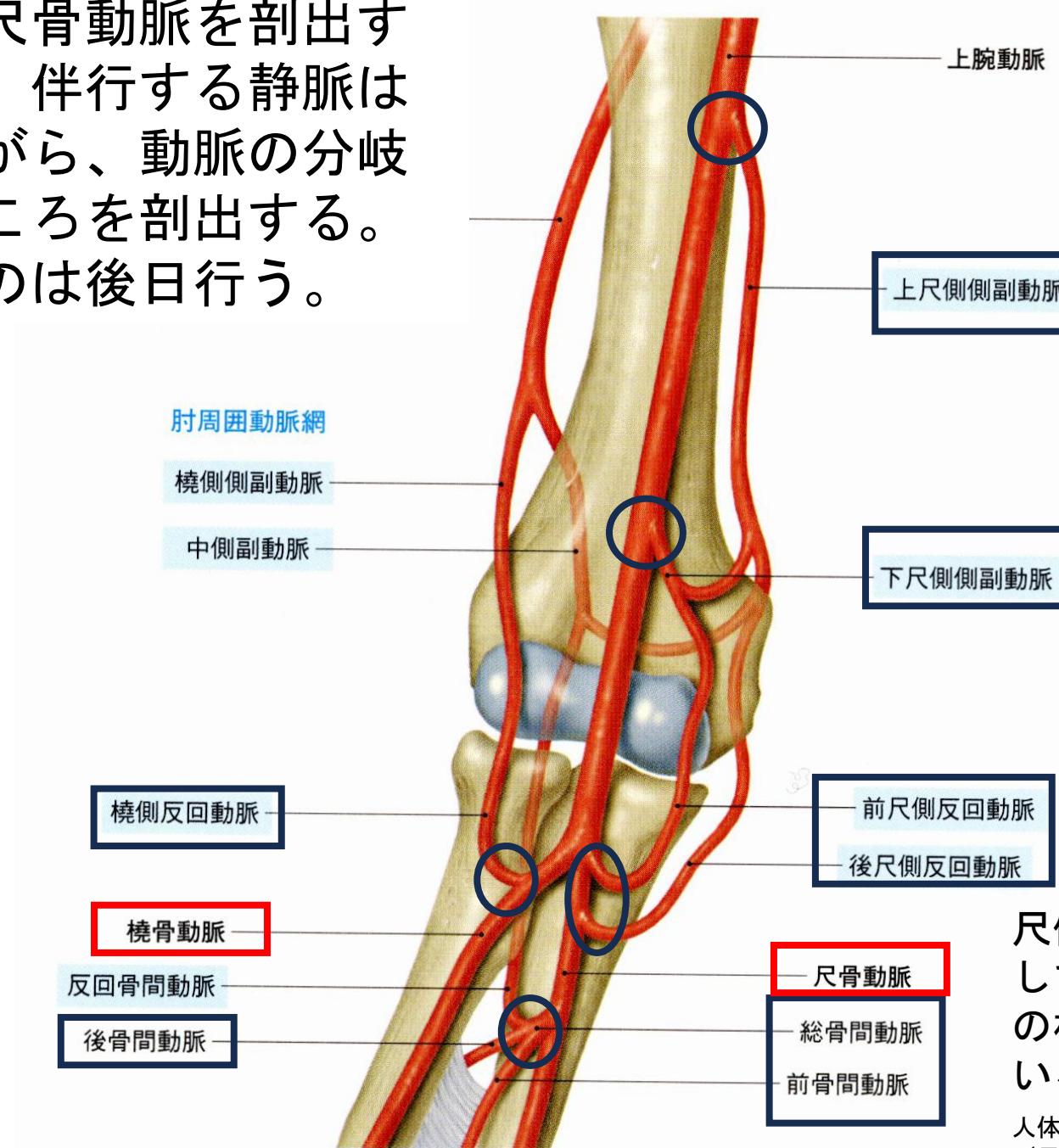
52 肘周囲動脈網（前面）



橈骨動脈と尺骨動脈を剖出す
る。その際、伴行する静脈は
切り離しながら、動脈の分岐
しているところを剖出する。
吻合を追うのは後日行う。

橈骨動脈
橈側反回動脈

尺骨動脈
尺骨反回動脈
総骨間動脈
前骨間動脈
後骨間動脈



尺側反回動脈と
して 1 本の共通
の枝で分岐して
いることもある
人体の正常構造と機能
(日本医事新報社)

- 1, 上腕二頭筋腱膜を切斷する。手首のあたりを皮剥ぎする。
- 2, 前腕屈筋群の剖出
表層 尺側手根屈筋、長掌筋、橈側手根屈筋、円回内筋
中層 浅指屈筋
深層 長母指屈筋、深指屈筋、方形回内筋
伸筋の橈側群 腕橈骨筋、長橈側手根伸筋、短橈側手根伸筋
- 3, 正中神経とその枝（前骨間神経、掌枝）を確認
尺骨神経とその枝（手背枝、掌枝）を確認
橈骨神経の浅枝を確認
- 4, 尺骨動脈と橈骨動脈を手首のところまで剖出する。（伴行する静脈を切り離す）
橈側反回動脈、尺側反回動脈、総骨間動脈、前/後骨間動脈の分岐部分を剖出する。
- 5, 前回出ていなければ、上腕動脈から分岐する上/下尺側側副動脈の分岐部分を探す。

---教員のチェックを受けて終了